

新任社外取締役メッセージ



大 西 成 男

略歴

2008年 6月 帝人株式会社代表取締役社長CEO
2010年 6月 帝人株式会社代表取締役社長執行役員CEO
2014年 4月 帝人株式会社取締役会長
2018年 4月 帝人株式会社取締役相談役
2018年 6月 帝人株式会社相談役(現在にいたる)

私はこれまで合成繊維、化成品、医薬医療産業で経営を担ってきました。電力は経済社会の最重要インフラですが、その役割は高度情報技術社会の中でますます増加します。将来の社会を支えるTEPCOグループには、福島第一原子力発電所の廃炉や地域復興の諸課題に取り組むことと同時に、顧客・環境視点に立脚した新規事業展開と、諸活動を支える高収益事業体への転換が求められています。さまざまなステークホルダーから高い信頼を得るべく、私も実業を通じて蓄えた経験と知恵を活かしながら取締役会での議論に積極的に参加し、微力ながら最善を尽くしてまいります。



大 西 正 一 郎

略歴

1992年 4月 弁護士(現在にいたる)
2003年11月 株式会社産業再生機構マネージングディレクター(2007年1月まで)
2007年 1月 フロンティア・マネジメント株式会社代表取締役(現在にいたる)
2017年11月 FCDパートナーズ株式会社代表取締役(現在にいたる)

私は、2011年に東京電力経営・財務調査タスクフォースで事務局次長を務めましたが、TEPCOグループは、この9年間で発送電分離を完了し、各種業務の効率化やコスト削減が図られ、着実に筋肉質な会社へと変化を遂げてきたと思います。しかしながら、廃炉や賠償の問題の解決は途上であり、電力自由化による競争の激化によりTEPCOグループはさらなる試練に立たされています。私は、社外取締役として、TEPCOグループがこの試練を乗り越えるとともに、廃炉や賠償等の課題を解決し、新しい電力会社へ変化していく姿を支援してまいります。



田 中 耕 太 郎

略歴

2013年 7月 内閣府参事官(政策統括官(科学技術政策・イノベーション担当)付)
2015年 7月 経済産業省特許庁総務部秘書課長
2017年 7月 復興庁福島復興局次長
2020年 4月 原子力損害賠償・廃炉等支援機構連絡調整室次長
2020年 6月 原子力損害賠償・廃炉等支援機構経営改革支援室長(現在にいたる)

東日本大震災、福島第一原子力発電所事故から10年目を迎えています。TEPCOグループは、福島への責任を果たしていくために、これまでさまざまな改革を行ってまいりました。今、TEPCOグループを取り巻く事業環境の大きな変化に加えて、新型コロナウイルスが経済社会に大きな影響をおよぼす中で、TEPCOグループは改革の継続とともに、新たな事業開拓などの取り組みを行っていくことも求められています。これらに果敢に挑戦しつつ、今後とも福島への責任を果たしていくため、海外での経験や福島復興の現場に寄り添ってきた経験も活かしながら、お役に立ちたいと思っています。